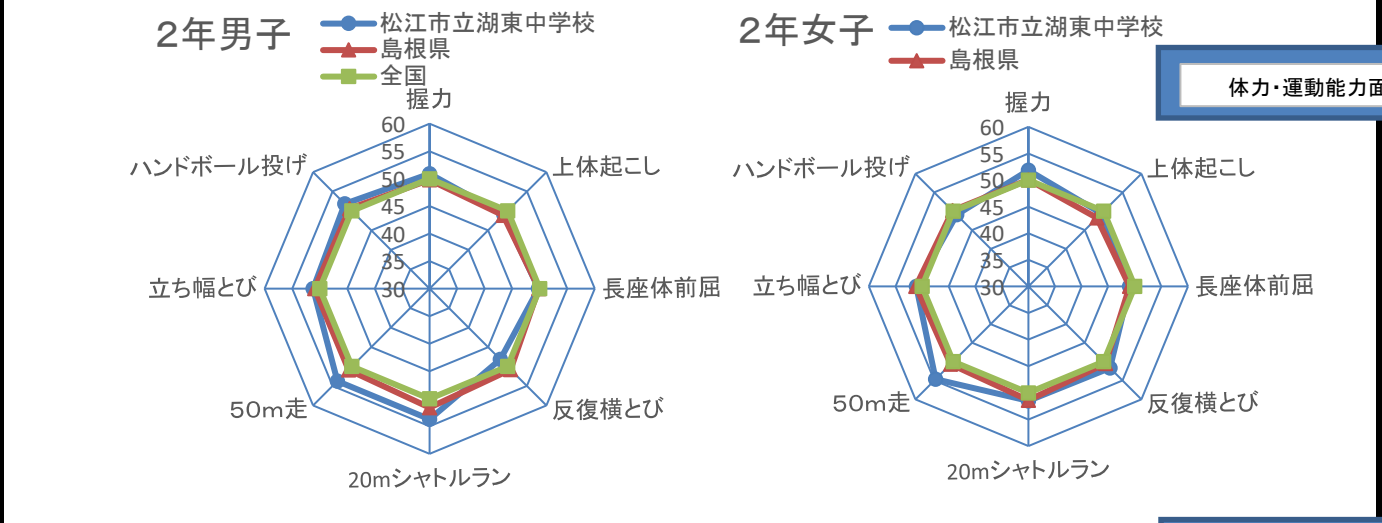
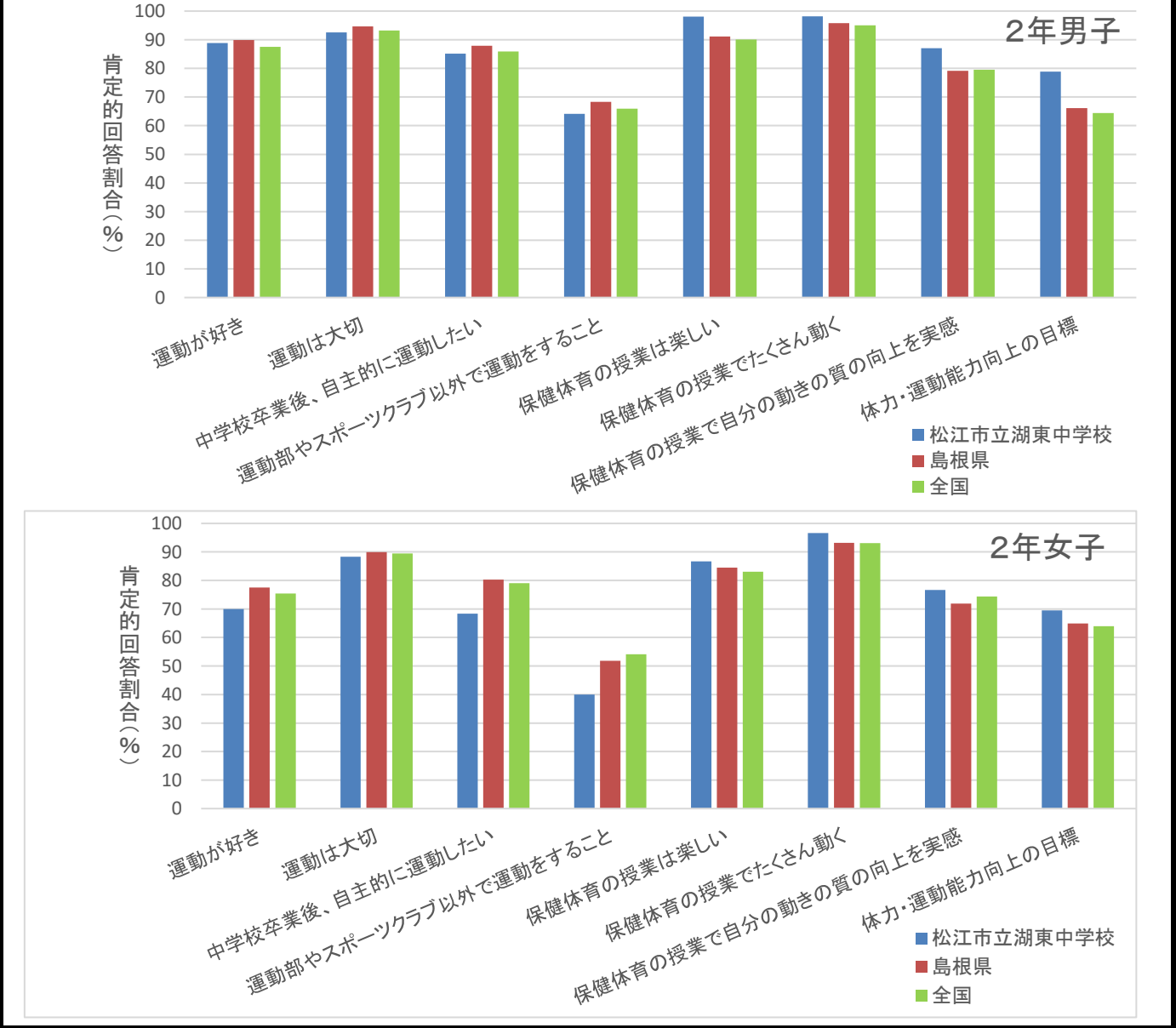


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2) 調査結果の分析



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



① 体力・運動能力面

強み
○男子では「握力」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」が全国平均を上回っている。特に「走力」が強み。 ○女子では「握力」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」が全国平均を上回っている。特に「走力」が強み。
課題
●男子では「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」が全国平均を下回り、特に「敏捷性」が課題。 ●女子では「上体起こし」「長座体前屈」「ハンドボール投げ」において全国平均を下回り、特に「柔軟性」が課題。
次年度の対策
男女ともに「上体起こし」「長座体前屈」の2項目において全国平均を下回る状況にあるため、日ごろの体育の授業の中でこの2項目に関しては静的トレーニングを取り入れるなどして補っていく。

② 意識面

強み
○男子では「運動が好き」「保健体育の授業は楽しい」「保健体育の授業でたくさん動く」「保健体育の授業で自分の動きの質の向上を実感」「体力・運動能力向上の目標」の割合が全国平均よりも高い。 ○女子では「保健体育の授業は楽しい」「保健体育の授業でたくさん動く」「保健体育の授業で自分の動きの質の向上を実感」「体力・運動能力向上の目標」の割合が全国平均よりも高い。
課題
●男子では「運動は大切」「中学校卒業後、自主的に運動したい」「運動部やスポーツクラブ以外で運動をすること」の割合が全国平均よりも低い。 ●女子では「運動が好き」「運動は大切」「中学校卒業後、自主的に運動したい」「運動部やスポーツクラブ以外で運動をすること」の割合が全国平均よりも低い。
次年度の対策
子どもたちがより運動に主体的に取り組めるような工夫をこらした授業づくりを行う。

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
 - ・他教科の先生方にも見てもらいながら授業力向上に努める。
 - ・初任研やフォローアップ研修などの授業研究から、ふり返りの共有をしっかりと行う。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
 - ・運動時間をしっかりと確保できるように、説明を簡潔にして必要な情報を伝えられるようにする。
 - ・定期的に運動能力確認テストを実施する。(新体力テストの項目を生かして)
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
 - ・ICT機器の利用をはじめ、図書館の活用も考えていく。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
 - ・運動部活動の推進
 - ・家庭でできるストレッチなどの紹介